

# 14 尿路上皮癌

※ レジメン名称を [クリック](#) または [Ctrl](#) + [クリック](#) してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、[“現在のページを印刷する”](#) を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
1	共通	14001-1A	<a href="#">M-VAC療法(側管)</a>	
2	共通	14002-1A	<a href="#">TCG療法</a>	
3	共通	14003-1A	<a href="#">MEC療法</a>	
4	共通	14004-1A	<a href="#">CBDCA+GEM併用療法</a>	
5	共通	14004-2A	<a href="#">CBDCA+GEM併用療法(Day8単回投与)</a>	
6	共通	14006-1A	<a href="#">CBDCA+GEM(Low dose)併用療法</a>	
7	共通	14007-1A	<a href="#">GCis(GEM+CDDP併用)療法</a>	
8	科別(泌尿)	14009-1B	<a href="#">THP+CDDP動注化学放射線療法</a>	
9	科別(泌尿)	14010-1B	<a href="#">M-VAC25%動注併用療法</a>	
10	科別(泌尿)	14012-1B	<a href="#">MEC動注療法</a>	
11	科別(泌尿)	14799-1B	<a href="#">(膀胱内注入)ピノルビン療法</a>	
12	科別(泌尿)	14799-2B	<a href="#">外来用(膀胱内注入)ピノルビン療法</a>	
13	共通	14014-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ療法(尿路上皮)</a>	
14	共通	14015-1A	<a href="#">ペムブロリズマブ倍量療法(400mg)(尿路上皮)</a>	
15	共通	14016-1A	<a href="#">エンホルツマブ ベドチン療法</a>	
16	共通	14017-1A	<a href="#">ニボルマブ療法(240mg)(尿路上皮)</a>	
17	共通	14018-1A	<a href="#">ニボルマブ倍量療法(480mg)(尿路上皮)</a>	
18	共通	14019-1A	<a href="#">エンホルツマブ ベドチン+ペムブロリズマブ</a>	

14001

膀胱・腎盂・尿管癌

M-VAC 療法(側管)

申請科

泌尿器科

H28.1 改訂 H30.11 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R3.6 改訂 R3.12 改訂 R5.12 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
メソトレキセート (methotrexate)	30mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1, 15, 22
エクザール (vinblastine)	3mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day2, 15, 22
ドキソルビシン塩酸塩 (adriamycin)	30mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day2
シスプラチン (cisplatin)	70mg/m <sup>2</sup>	div.	day2
4週毎 adjuvant回数、評価可能病変があるかによりコース数は変わる。			
Regimen			
内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。 day2 アプレピタントカプセル125mg 化学療法前 1回	2時間	側⑤生理食塩液 500mL 1B シスプラチン ( )mg
内服	day3、4 アプレピタントカプセル80mg分1 朝食後 day3~5 デカドロン錠8mg分1~2 食後	4時間 全開 (5分)	メイン②ソルアセトF500mL 1B 側 ⑥(メイン②と並行して投与) 生理食塩液100mL 1B フロセミド注20mg 1A
4時間	day1 メイン①ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A	30分 4時間	側⑦グラニセトロン点滴静注バッグ1mg 1B メイン③ヴィーン3G 500mL 1B
4時間	メイン②ソルアセトF 500mL 1B	4時間	メイン④ソルアセトF 500mL 1B
60分	側①(メイン②と並行して投与) 生理食塩液 100mL 1B メソトレキセート ( )mg	4時間 4時間	メイン⑤ヴィーン3G 500mL 1B メイン⑥ソルアセトF 500mL 1B
5分	側②生理食液 50mL 1B	6時間	day14、21 22時より メイン①ソルアセトF 500mL 1B
4時間	メイン③ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A	6時間	メイン②ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A
4時間	メイン④ソルアセトF 500mL 1B		day15、22
4時間	メイン⑤ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A	6時間	メイン①ソルアセトF 500mL 1B ※前日に病棟へ払出す
4時間	メイン⑥ソルアセトF 500mL 1B	60分	側①(メイン①と並行して投与) 生理食塩液 100mL 1B メソトレキセート ( )mg
4時間	day2 メイン①ヴィーン3G 500mL 1B	30分	側②生理食塩液 100mL 1B エクザール ( )mg
30分	側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V デキサート注1.65mg 2A	5分 6時間	側③生理食塩液 50mL 1B メイン②ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A
30分	側②生理食塩液 100mL 1B エクザール ( )mg	6時間	メイン③ソルアセトF 500mL 1B
30分	側③生理食塩液 100mL 1B ドキソルビシン塩酸塩 ( )mg	備考	
30分	側④(メイン①を止めて投与) マンニトール S 300mL 1B	【レジメンシステム登録】 14001-1A M-VAC 療法(側管) ・アプレピタントはレジメン内の処方に登録 ・デカドロン錠は適宜処方内服オーダ	

14002

膀胱・腎盂・尿管癌

TCG療法

申請科

泌尿器科

改訂H28.1 H28.9 H29.6 H30.11 R2.6 R3.5 R3.6 R3.12 R4.3 R5.12 改訂 R6.10 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/m <sup>2</sup>	div. (1h)	day2, 9
シスプラチン(CDDP) (cisplatin)	70mg/m <sup>2</sup>	div. (2h)	day2
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1000mg/m <sup>2</sup>	div. (30min)	day2, 9
3~4週毎 1~6クール 膀胱癌の標準的化学療法 M-VAC、MVP-CAB、MEC が無効もしくは効果が期待できないときに。			
Regimen			
内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。 day2 アプレピタントカプセル125mg 化学療法前 1回	2時間	側⑥生理食塩液 500mL 1B シスプラチン注 ( )mg
内服	day3, 4 アプレピタントカプセル80mg分1 朝食後 day3~5 デカドロン錠8mg分1~2 食後	5分 6時間 6時間 6時間	側⑦生理食塩液 50mL 1B メイン②ヴィーン3G 500mL 1B メイン③ソルアセトF 500mL 1B メイン④ヴィーン3G 500mL 1B
6時間	day1 メイン①ソルアセトF 500mL 1B	15分	day9 メイン①生理食塩液 50mL 1B デキサート注 6.6mg 2V デキサート注 1.65mg 2A ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A
6時間	メイン②ヴィーン3G 500mL 1B	30分	側①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B
6時間	day2 メイン①ソルアセトF 500mL 1B ※前日に病棟に払い出す	60分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg
15分	側①(メイン①と並行して投与) 生理食塩液 50mL 1B デキサート注 6.6mg 2V デキサート注 1.65mg 2A ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A	30分 5分	側③5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用( )mg 側④生理食塩液 50mL 1B
30分	側②グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B	備 考	
60分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液( )mg	・day2の側②とday9の側①はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。	
30分	側④5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用( )mg	【レジメンシステム登録】 14002-1A TCG療法	
30分	側⑤(メイン①を止めて投与) マンニトール S 300mL 1B	・1クール4週間で登録 ・アプレピタントはレジメン内の処方に登録 ・デカドロン錠は適宜処方内服オーダ	

14003

膀胱・腎盂・尿管癌

MEC療法

申請科

泌尿器科

H28.1改訂 H30.6改訂 R2.6改訂 R3.5改訂 R3.6改訂 R3.12改訂 R5.12改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
メソトレキセート (methotrexate)	30mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1、15
エピルビシン塩酸塩 (epirubicin)	50mg/m <sup>2</sup>	i. v.	day1
シスプラチン (cisplatin)	50mg/m <sup>2</sup>	div.	day2、3
3~4週毎 adjuvant回数、評価可能病変があるかによりコース数は変わる。 動注併用することもある。			
Regimen			
内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。 day2 アプレピタントカプセル125mg 化学療法前 1回	30分	側②(メイン①を止めて投与) マンニトールS 300mL 1B
内服	day3、4 アプレピタントカプセル80mg分1 朝食後 day3~5 デカドロン錠8mg分1~2 食後	2時間	側③生理食塩液 500mL 1B シスプラチン注 ( )mg
4時間	day1 メイン①ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A	全開 (5分)	側④生理食塩液 100mL 1B フロセミド注 20mg 1A
4時間	メイン②ソルアセトF 500mL 1B	30分	側⑤グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B
30分	側①(メイン②と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V	5時間	メイン②ソルアセトF 500mL 1B
30分	側②生理食塩液 100mL 1B メソトレキセート ( )mg	5時間	メイン③ヴィーン3G500mL 1B
30分	側③生理食塩液 100mL 1B エピルビシン塩酸塩 ( )mg	5時間	メイン④ソルアセトF 500mL 1B
5分	側④生理食塩液 50mL 1B	5時間	メイン⑤ヴィーン3G500mL 1B
4時間	メイン③ヴィーン3G500mL 1B メイロン 20mL 1A	4時間	day15 メイン①ソルアセトF 500mL 1B メイロン 20mL 1A
4時間	メイン④ソルアセトF 500mL 1B	30分	側①(メイン①と並行して投与) 生理食塩液 100mL 1B メソトレキセート ( )mg
4時間	メイン⑤ヴィーン3G500mL 1B メイロン 20mL 1A	5分	側②生理食塩液 50mL 1B
4時間	メイン⑥ソルアセトF 500mL 1B	4時間	メイン②ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1A
4時間	day2、3 メイン①ヴィーン3G 500mL 1B	4時間	メイン③ソルアセトF 500mL 1B
30分	側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V デキサート注 1.65mg 2A	備考	
【レジメンシステム登録】			
14003-1A MEC療法			
・1クール4週間で登録			
・アプレピタントはレジメン内の処方登録			
・デカドロン錠は適宜処方内服オーダー			

14004

膀胱・腎盂・尿管癌

CBDCA+GEM 併用療法

申請科

泌尿器科

H27.7改訂 H28.9改訂 H29.6改訂 H30.11改訂 R2.6改訂 R3.5改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
カルボプラチン (carboplatin)	AUC=5	div. (2h)	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1000mg/m <sup>2</sup>	div. (30min)	Day1, 8
<b>4週毎</b>			
<b>1～7クール</b>			
化療ベット予約: day1 は 3 時間 30 分、day8 は 1 時間 30 分で登録			
<b>Regimen</b>			
	<b>day1</b>		
3 時間	メイン①ソルデム3A 500mL 1B		
30 分	側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
30 分	側②5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg		
2 時間	側③生理食塩液 500mL 1B カルボプラチン ( )mg		
5 分	側④生理食塩液 50mL 1B		
		<b>備 考</b>	
	<b>day8</b>		
1 時間	メイン①ソルデム3A 500mL 1B		<b>【レジメンシステム登録】</b> 14004-1A CBDCA+GEM 併用療法 14004-2A CBDCA+GEM 併用療法 (Day8 単回投与)
30 分	側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		・day8 用(GEM のみ)
30 分	側②5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg		
5 分	側③生理食塩液 50mL 1B		

14006	尿路上皮癌	CBDCA+GEM(Low dose) 併用療法	申請科
			泌尿器科

H23.1 登録 H.27.7 改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.11 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
カルボプラチン (carboplatin)	AUC=5	div. (2h)	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	500mg/m <sup>2</sup>	div. (30min)	Day1, 8

4週毎 化療ベット予約: day1 は3時間30分、day8 は1時間30分で登録

Regimen

<b>day1</b>			
3時間	メイン①ソルデム3A 500mL 1B		
30分	側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
30分	側②5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg		
2時間	側③生理食塩液 500mL 1B カルボプラチン ( )mg		
5分	側④生理食塩液 50mL 1B		
		<b>備 考</b>	
<b>day8</b>		<b>【レジメンシステム登録】</b>	
1時間	メイン①ソルデム3A 500mL 1B	14006-1A CBDCA+GEM(Low dose)併用療法	
30分	側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
30分	側②5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg		
5分	側③生理食塩液 50mL 1B		

14007

尿路上皮癌

GCis(GEM+CDDP 併用)療法

申請科

泌尿器科

H27.7 改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.11 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R3.6 改訂 R3.12 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1000mg/m <sup>2</sup>	div. (30min)	Day1、8、15
シスプラチン (cisplatin)	70mg/m <sup>2</sup>	div. (2h)	Day2
4週毎 効果なくなるまで			
Regimen			
内服	アプレピタントカプセル及びデカドロン錠を併用する。 day2 アプレピタントカプセル125mg 化学療法前 1回	30分	側②(メイン②を止めて投与) マンニトール S 300mL 1B
内服	day3、4 アプレピタントカプセル80mg分1 朝食後 day3~5 デカドロン錠8mg分1~2 食後	2時間	側③生理食塩液500mL 1B シスプラチン注 ( )mg
内服	day3~5 デカドロン錠8mg分1~2 食後	5分	側④生理食塩液 50mL 1B
90分	day1、8、15 メイン①ソルデム3A 500mL 1B	6時間	メイン③ソルデム6 500mL 1B
30分	側①(メイン①と並行して投与) 生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V	6時間	メイン④ソルアセトF 500mL 1B
30分	側②5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ( )mg	6時間	メイン⑤ソルデム6 500mL 1B
5分	側③生理食塩液 50mL 1B	備 考	
2時間	day2 メイン①ソルアセトF 500mL 1B	【レジメンシステム登録】 14007-1A GCis(GEM+CDDP併用)療法 ・アプレピタントはレジメン内の処方に登録 ・デカドロン錠は適宜処方内服オーダ	
6時間	メイン②ソルアセトF 500mL 1B		
30分	側①(メイン②と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V デキサート注1.65mg 2V		

14009	尿路上皮癌	THP+CDDP 動注 化学放射線療法	申請科
			泌尿器科

H23.10 登録、H27.7 改訂、H.28.6 改訂 H30.11 改訂 科別(泌尿器科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
フルツロン (5'-DFUR)	200mg	p. o. (1日3回)	Day1~14 連日
ピノルビン THP (pirarubicin)	10mg/body	動注	Day1、8
シスプラチン CDDP (cisplatin)	20mg/body	動注	Day1
Radiation	2Gy×5Day/週		

2週毎

投与回数は放射線照射の回数により変動

Regimen

内服	<b>day1~14 連日</b>		動注	<b>Day8</b>		
	フルツロン(200mg) 3C 分3			動注①生理食塩液20mL	1本	フラッシュ
	<b>day1</b>			動注②生理食塩液 20mL	1本	
	動注①生理食塩液20mL	1本		one ピノルビン 10mg	1V	
動注	動注②生理食塩液 20mL	1本	shot	動注③ヘパリン Na ロック用(100 単位/mL)	10mL 1本	
one shot	ピノルビン 10mg	1V				
動注	動注③シスプラチン 10mg	2V	<b>備考</b>			
one shot			※薬剤部調製時はシリンジで払い出し			
動注	動注④ヘパリン Na ロック用(100 単位/mL)	10mL 1本	<b>【レジメンシステム登録】</b>			
			14009-1B THP+CDDP動注化学放射線療法 フルツロンは内服処方オーダー			



14010

膀胱・腎盂・尿管癌

M-VAC25%動注併用療法

申請科

泌尿器科

H28.1 改訂 H29.12 改訂 H30.6 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R5.12 改訂 科別(泌尿器科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
メソトレキセート (methotrexate)	22.5mg/m <sup>2</sup> 7.5mg/m <sup>2</sup>	i. v. i. a.	day1, 15, 22
エクザール (vinblastine)	2.25mg/m <sup>2</sup> 0.75mg/m <sup>2</sup>	i. v. i. a.	day2, 15, 22
ドキソルビシン塩酸塩 (adriamycin)	22.5mg/m <sup>2</sup> 7.5mg/m <sup>2</sup>	i. v. i. a.	day2
シスプラチン (cisplatin)	52.5mg/m <sup>2</sup> 17.5mg/m <sup>2</sup>	div. i. a.	day2
4週毎 adjuvant回数、評価可能病変があるかによりコース数は変わる。			
Regimen			
<b>day1</b>			
4時間	メイン①ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1V	30分 one	側②生理食塩液 100mL 1B エクザール ( )mg
4時間	メイン②ソルアセトF 500mL 1B	shot	動注①生理食塩液 50mL 20mL エクザール ( )mg
60分	側①(メイン②と並行して投与) 生理食塩液 100mL 1B	30分	シリンジに調製 側③生理食塩液 100mL 1B ドキソルビシン塩酸塩( )mg
5分	側②生理食塩液 50mL 1B	one	動注②生理食塩液 50mL 20mL
one	動注①生理食塩液 50mL 20mL	shot	ドキソルビシン塩酸塩( )mg
shot	メソトレキセート ( )mg シリンジに調製	shot	シリンジに調製
	動注②生理食塩液 20mL 1V	30分	側④(メイン①を止めて投与)
	ヘパリン Na注 5mL 1V		マンニトール S 300mL 1B
	シリンジに調製	2時間	側⑤生理食塩液 500mL 1B
4時間	メイン③ヴィーン3G 500mL 1B	one	シスプラチン ( )mg
	メイロン 20mL 1V	shot	動注③シスプラチン ( )mg
4時間	メイン④ソルアセトF 500mL 1B		シリンジに調製
4時間	メイン⑤ヴィーン3G 500mL 1B		動注④生理食塩液 20mL 1本
	メイロン 20mL 1V		ヘパリン Na注 5mL 1V
4時間	メイン⑥ソルアセトF 500mL 1B		シリンジに調製
		4時間	メイン②ソルアセトF 500mL 1B
<b>day2</b>			
4時間	メイン①ヴィーン3G 500mL 1B	全開	側⑥(メイン②と並行して投与)
30分	側①(メイン①と並行して投与) グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B	(5分)	生理食塩液 100mL 1B フロセミド注20mg 1A
	デキサート6.6mg 1V	30分	側⑦グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B
	デキサート1.65mg 2V	4時間	メイン③ヴィーン3G 500mL 1B
		4時間	メイン④ソルアセトF 500mL 1B
		4時間	メイン⑤ヴィーン3G 500mL 1B
		4時間	メイン⑥ソルアセトF 500mL 1B



14012

膀胱・腎盂・尿管癌

MEC 動注療法

申請科

泌尿器科

H28.1改訂 H30.6改訂 R2.6改訂 R3.5改訂 R5.12改訂 科別(泌尿器科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
メソトレキサート (methotrexate)	30mg/m <sup>2</sup>	動注	day1、15
エピルビシン塩酸塩 (epirubicin)	50mg/m <sup>2</sup>	動注	day1
シスプラチン (cisplatin)	50mg/m <sup>2</sup>	動注	day2、3
3~4週毎			
Regimen			
4時間	<b>day1</b> メイン①ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1V	全開	メイン④生理食塩液 100mL 1B フロセミド 20mg 1A
30分	メイン②グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V	4時間	メイン⑤ソルアセトF 500mL 1B
one shot	動注①生理食塩液50mL 20mL メソトレキサート ( )mg シリンジに調製	4時間	メイン⑥ヴィーン3G 500mL 1B
	動注②生理食塩液50mL 20mL エピルビシン塩酸塩( )mg シリンジに調製	4時間	メイン⑦ソルアセトF 500mL 1B
4時間	メイン③ソルアセトF500mL 1B	4時間	メイン⑧ヴィーン3G 500mL 1B
4時間	メイン④ヴィーン3G 500mL 1B	4時間	メイン⑨ソルアセトF 500mL 1B
4時間	メイロン 20mL 1V	one shot	動注①生理食塩液50mL 20mL メソトレキサート ( )mg シリンジに調製
4時間	メイン⑤ソルアセトF500mL 1B	4時間	メイン①ソルアセトF 500mL 1B メイロン 20mL 1V
4時間	メイン⑥ヴィーン3G 500mL 1B	4時間	メイン②ヴィーン3G 500mL 1B メイロン 20mL 1V
4時間	メイロン 20mL 1V	4時間	メイン③ソルアセトF 500mL 1B
4時間	メイン⑦ソルアセトF500mL 1B		
4時間	<b>day2、3</b> メイン①ヴィーン3G 500mL 1B		
4時間	メイン②グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート 6.6mg 1V デキサート注1.65mg 2A	<b>備 考</b>	
30分	メイン③マンニトールS300mL 1B	【レジメンシステム登録】 14012-1B MEC 動注療法 1クール3週間で登録	
30分	動注①シスプラチン ( )mg シリンジに調製		
one shot			

14799

膀胱癌

(膀胱注入用)ピノルビン療法

申請科

泌尿器科

H24.8 登録、H26.4 改訂 H30.6 改訂 科別(泌尿器科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ピラルビシン (pirarubicin)	30mg/body	膀胱内注入	day1
便宜上1日			
Regimen			
膀胱内 注入	<p><b>day 1</b></p> <p>膀注①大塚食塩液 20mL 2本 ピノルビン注射用 10mg 3V</p> <p>※ピノルビン 3Vを生理食塩液 30mL で希釈し、全量を 30mL として払い出し シリンジに調製</p> <p>※OP 室に払い出し (※外来用は外来化学療法室に払い出し)</p> <p>※膀胱内注入、【禁】注射</p> <p>※医師が投与</p>		
備 考			
<p>※薬剤部で調製を行うにあたり、化学療法患者一覧への表示、実施確認が可能となるようレジメンとしての登録。</p> <p>※手術室の汚染および医療従事者の被ばく防止のため薬剤部で調製作業を実施することとなった。</p> <p>※2018年6月委員会にて承認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・溶解液を蒸留水から生食へ変更</li> <li>・全量 40mL から 30mL へ変更</li> </ul> <p><b>【レジメンシステム登録】</b></p> <p>14799-1B (膀胱内注入)ピノルビン療法</p> <p>14799-2B 外来用(膀胱内注入)ピノルビン療法</p>			

14014	尿路上皮癌	ペムブロリズマブ療法 (尿路上皮)	申請科
			泌尿器科

H30.2 登録 H31.1 改訂 R2.12 改訂

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body	div.(30分)	day1

3週毎

可能な限り継続

化療ベット予約:1時間で登録

Regimen

day1	
5分	メイン①生理食塩液 50mL 1B
30分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B

備考

- ・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること
- ・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること
- ・30分間かけて点滴静注すること
- ・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。

【レジメンシステム登録】

14014-1A ペムブロリズマブ療法(尿路上皮)

R2.12 バイタルサインのモニターはキイトルーダとして初回投与時と記載変更

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
14015-1A	共通	膀胱癌・腎盂癌・尿管癌	<u>ペムブロリズマブ倍量療法 (400mg)</u> <u>(尿路上皮)</u>	泌尿器科
適応患者				
病期(stage) ; 化学療法後に再発又は進行した局所進行性もしくは転移性の尿路上皮癌患者 I IIa IIb IIIa IIIb IV PS ; 0 ~ 2 ( 2 まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他 (   )		
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	400mg/body	div 30分	Day1	
インターバル日数・最大投与回数(End point)	6週毎・増悪まで	化療ベット予約 : 1 時間で登録		
Radiation 併用 有 ・ 無	1回 Gy ×	日、 Total	Gy ×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分  30分  全開 (5分)	Day1			
	① 生理食塩液 50ml 1B	<b>備 考</b> ・キイトルーダ投与にあたり、インライタフィルター(0.2~5µm)を使用すること ・キイトルーダ希釈液の点滴溶解中の最終濃度は1~10mg/mlとなるように調整すること ・30分かけて点滴静注すること ・infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること 【レジメンシステム登録】 14015-1A ペムブロリズマブ倍量療法(400mg)(尿路上皮)		
	② 生理食塩液 100ml 1B キイトルーダ 100mg 4V			
③ 生理食塩液 50ml 1B				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
14016-1A	共通	尿路上皮癌(膀胱癌・腎盂癌・尿管癌)	<a href="#">エンホルツマブ ベドチン療法</a>	泌尿器科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <b>IV</b>		□adjuvant □neoadjuvant ■再発・進行 □その他( )		
PS; ~ ( まで)				
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
パドセブ (Enfortumab Vedotin)	1.25mg/kg (上限 125mg)	Div (30分)	Day1、8、15	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎・回	化療ベット予約: 1時間で登録		
Radiation 併用有・ <b>無</b>	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分	day1、8、15 メイン①生理食塩液 50mL 1B		<b>備考</b> ・パドセブは 1V を蒸留水(点滴静注用 20mg:2.3mL、点滴静注用 30mg:3.3mL)で溶解し、必要量抜き取り、生理食塩水 50mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 1.25mg/kg→0.125mL/kg ・パドセブ希釈後の点滴溶液中の最終濃度が 0.3~4.0mg/mL となるように調製すること ・30分以上かけて点滴静注すること ・パドセブにより infusion reaction が発現することがあるため、初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること  <b>【レジメンシステム登録】</b> 14016-1A エンホルツマブ ベドチン療法	
30分	側①生理食塩液 50mL 1B パドセブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (パドセブは必要量の蒸留水で溶解しています)			
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
14017-1A	共通	膀胱癌、尿管癌、腎盂癌	<a href="#">ニボルマブ療法(240mg)(尿路上皮)</a>	泌尿器科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; 0~2 ( まで)			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
オプジーボ (Nivolumab)	240mg/body	Div(30分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2週毎・24回	化療ベット予約: 1.0 時間で登録		
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy×	日、Total	Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分 30分 5分 (全開)	day1			
	①	生理食塩液	50mL	1B
	②	生理食塩液 オプジーボ	100mL 240mg	1B 1V
	③	生理食塩液	50mL	1B
備 考				
<p>・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。</p> <p>・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。</p> <p>なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。</p> <p>・30分以上かけて点滴静注すること。</p> <p>・オプジーボにより infusion reaction が発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</p>				
【レジメンシステム登録】				
14017-1A ニボルマブ療法(240mg)(尿路上皮癌)				



コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
14018-1A	共通	膀胱癌、尿管癌、腎盂癌	<a href="#">ニボルマブ倍量療法(480mg)(尿路上皮)</a>	泌尿器科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; 0~2 ( まで)			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )	
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)	
オプジーボ (Nivolumab)	480mg/body	Div(30分)	Day1	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4週毎・12回	化療ベット予約: 1.0 時間で登録		
Radiation 併用 有・ <input type="checkbox"/> 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分 30分 5分 (全開)	day1			
	① 生理食塩液	50mL	1B	
	② 生理食塩液 オプジーボ	100mL 240mg	1B 2V	
	③ 生理食塩液	50mL	1B	
備考				
<p>・オプジーボ投与にあたり、インラインフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。</p> <p>・オプジーボ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は0.35mg/mL以上、総液量は60mL以上を目安とすること。</p> <p>なお、希釈する場合、総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする必要があるため、体重30kg未満の場合はボトルから生食30mLを抜き取る(薬剤部調製時)(薬品コメントとして登録済)。</p> <p>・30分以上かけて点滴静注すること。</p> <p>・オプジーボによりinfusion reactionが発現することがあるため、オプジーボとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</p> <p>【レジメンシステム登録】 14018-1A ニボルマブ倍量療法(480mg)(尿路上皮癌)</p>				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
14019	共通	根治切除不能な 尿路上皮癌	<u>エンホルツマブ・ベドチン</u> <u>+ペムブロリズマブ療法</u>	泌尿器科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb Ⅳ PS; ~ ( 2まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他( )		
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body	div 30分	Day1	
パドセブ (Enfortumab Vedotin)	1.25mg/kg (上限 125mg)	div 30分	Day1、8	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・回	化療ベット予約: 1.5時間で登録		
Radiation 併用有・	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			備考
5分	Day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B			<ul style="list-style-type: none"> <li>・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること</li> <li>・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること</li> <li>・キイトルーダは30分かけて点滴静注すること</li> <li>・パドセブは1Vを蒸留水(点滴静注用 20mg:2.3mL、点滴静注用 30mg:3.3mL)で溶解し(10mg/mL)、必要量抜き取り、生理食塩液 50mLに希釈する。</li> <li>・蒸留水は体重換算の量で登録 1.25mg/kg→0.125mL/kg</li> <li>・パドセブ希釈後の点滴溶液中の最終濃度が0.3~4.0mg/mLとなるように調製すること</li> <li>・パドセブは30分以上かけて点滴静注すること</li> <li>・キイトルーダ、パドセブにより infusion reaction が発現することがあるため、初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること</li> <li>・デキサート注はパドセブによる皮膚障害予防</li> </ul> <p>【レジメンシステム登録】 14019-1A エンホルツマブ・ベドチン +ペムブロリズマブ療法</p>
30分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V			
15分	側②生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6 mg 1V			
30分	側③生理食塩液 50mL 1B パドセブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (パドセブは必要量の蒸留水で溶解しています)			
全開 (5分)	側④生理食塩液 50mL 1B			
5分	Day8 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
15分	側①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6 mg 1V			
30分	側②生理食塩液 50mL 1B パドセブ ( )mg 大塚蒸留水 100mL ( )mL (パドセブは必要量の蒸留水で溶解しています)			
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B			

